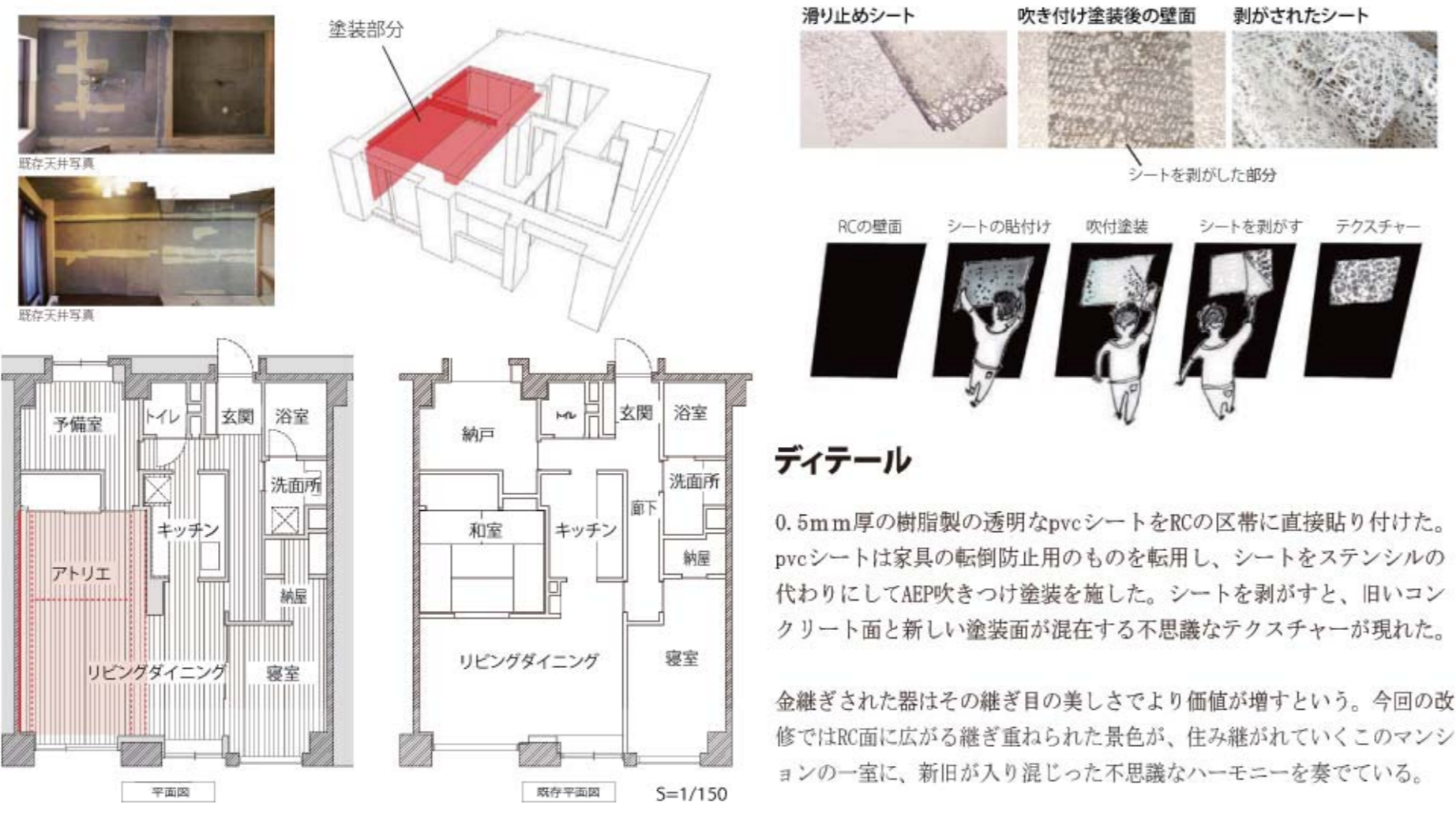


名古屋のアトリエ

どこにでもあるRCマンションの改修。施主の要望は大判の趣味の絵を存分に描ける、リビング兼アトリエが欲しいという事でした。限られた予算の中、絵の具が飛び散ったりと、ラフな使用が考えられるアトリエ空間と、居住空間であるリビングとをいかに共存させるかが今回のテーマだった。

コストを抑える為、間仕切り壁は極力変更せず、既存のフローリングの上から増し貼りとして、解体部分を絞り、遮音対策を解決した。

アトリエ空間は汚れが気にならない仕様で、絵の取り回しができる大きな空間が求められる一方、リビングのインテリアとして明るい色調にするため、躯体を現しとした後に特殊な塗装をする事にした。具体的には市販の滑り止めシートをステンシル代わりに使い、RC面に直接貼り付けマスキング塗装する事で、粗い躯体の表面に花柄模様が浮かびあがる独特なテクスチャーに昇華させた。



ディテール

0.5mm厚の樹脂製の透明なpvcシートをRCの区帯に直接貼り付けた。pvcシートは家具の転倒防止用のものを転用し、シートをステンシルの代わりにしてAEP吹きつけ塗装を施した。シートを剥がすと、古いコンクリート面と新しい塗装面が混在する不思議なテクスチャーが現れた。

金継ぎされた器はその継ぎ目の美しさでより価値が増すという。今回の改修ではRC面に広がる継ぎ重ねられた景色が、住み継がれていくこのマンションの一室に、新旧が入り混じった不思議なハーモニーを奏でている。

